



平成24年11月30日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社  
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一  
(コード番号 4524 東証、大証各第2部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆  
電話番号 06-6761-1131(代表)

牛へのカプセル投与技術研究開発が「JST 研究成果最適展開支援プログラム」に採択  
～牛の疾病予防に応用可能なカプセルの開発～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所（大阪府羽曳野市／理事長：大河内基夫）と、牛に投与するカプセルに関する共同研究を計画し、このたび平成24年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP（独立行政法人科学技術振興機構（JST））の研究開発課題として採択されましたので、お知らせいたします。

この研究支援プログラム A-STEP は、大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を実用化するための技術移転支援プログラムで、これまでに「転写因子 Glis1 により安全な iPS 細胞の高効率作製に成功」や「スプレーするだけでがん細胞が光り出す蛍光試薬」などの科学技術イノベーション成果を生み出しています。

当社は、従来より腸溶性シームレスカプセル（当社特許 3102990 号、5102401 号）を応用し、医薬品、健康食品の分野で製品を各種上市して参りましたが、本研究ではその技術を発展させ酪農、肉牛飼育など畜産分野での製品開発に取り組んで参ります。

本採択研究では、牛の腸まで有効成分を届けることのできるカプセルの完成を目指します。

現在、酪農分野では乳牛の遺伝的な改良が進み生産乳量も増大していますが、それに伴う栄養要求量が増加するとともに牛そのものの負担が増え、病気が多く発生し、酪農経営上の大きな問題となっています。

本カプセル技術を用い、牛の疾病予防や病原性微生物の排除に有効な成分を腸まで届けることができれば、経口投与という簡便な方法で上記の課題解決につながることを期待され、酪農分野での経営の健全化に寄与するものと考えております。

今後、一日も早い実用化を目指して、最終製品の開発に取り組んで参ります。

なお、本件による本年度の業績への影響は軽微です。

事業名：平成24年度 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）シーズ顕在化タイプ  
課題名：牛への機能性物質バイパス投与技術の開発  
期 間：平成25年1月～11月  
研究者：森下仁丹株式会社  
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

以上